

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	3	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・2部屋あり分けて使用する事が出来る。 ・個別課題や運動を行うスペースはあるが、活動によってはスペースが足りないと感じる。 ・部屋を区切る事は可能だが、視覚・聴覚の遮断が難しく、クールダウンに最適な場所がない。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・曜日や時間帯で多い・少ないと感じる時がある。 ・職員が多いと感じる時は事務作業を行い刺激にならない工夫を取っている。 ・配慮が必要な送迎は2名体制で対応できる。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	1	2	4	<ul style="list-style-type: none"> ・現段階では活動に支障はないが、将来的にはトイレ、玄関、駐車場、階段等の見直しと考慮が必要。 ・建物の構造上の問題であるが、トイレ介助が必要な子がいる為、広い方が良い。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・ミーティングをおこない、全職員が参加し共通理解を図っている。参加できない職員へは報告書を読覧する対応を取っているが、伝わりきらない事もあり強化していきたい。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・年1回実施しているが、未記入が多く、ニーズが分かりにくい。 ・頂いた意向は改善していけるよう、話し合いと対応の検討・実施をおこなっている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページに公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者委員会がない為実施に至らず。 ・実地指導後は、評価をもとに改善に努めている。
	⑧	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・正社員に関しては中心的是役割を担う機会もある為、偏りなく1人1人が各研修に年1回程度のペースで参加している。復命研修を教室でおこない全体で共有している。 ・参加の機会を増やしたい
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・児童担当職員がアセスメントを行い、それを基にケース会議を開き強みと課題の把握をおこなっている。また、面談等で得た情報や、保護者の要望も総合的に反映し計画を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・決められたアセスメントシートを使用。郡山市で統一されたアセスメントシートの使用により、より一層良い支援に繋がっていくのではないかと期待している。 ・心理検査は行っていない。
						<ul style="list-style-type: none"> ・月ごとの担当者を中心に立案し、スタッフ全員で

適切な支援の提供

⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7		精査・工夫している。 ・コロナが5類となり、さらに活動を増やしていきたい。
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	・月担当者の立案に対し、スタッフが意見を出し合い決めている。年間行事等固定された内容もあるが、マンネリ化・固定化されないよう努めている。 ・週や曜日で同じ活動にならない工夫をしている。
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	4	3	・全体ミーティングで話し合い決め、長期の際は、平日とは違った支援を行っている。 ・個人のニーズにあった内容を提供していきたいが、細分化にアバウトさがあり、改善・工夫に努めていきたい。 ・祝日・長期休暇にしか出来ない、活動を入れている。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	1	・子どもの状況を確認し支援計画を作成している。 ・個別活動、集団活動、発達支援、送迎、身辺整理等複合的に組み合わせている。 ・その日の調子をみて内容や量を加減している。
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	1	・朝礼、職員が出勤時に確認している。 ・活動して、初めて打ち合わせ不足と感じる事があり、朝礼の質を改善していきたい。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	7		・各児童の様子について振り返り、対策・支援について話し合い共有している。 ・職員の対応も振り返り改善にあたっている。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7		・児童それぞれに記録を取り、出来た事、頑張った事、気づき、家族や学校の先生からの情報を記載している。 ・読み返した時に、情報が足りないと感じる為、改善が必要。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7		・毎月モニタリングを実施し、見直しが必要か検討も兼ねている。 ・定期的に振り返る事で、支援の確認や見直しに繋がっている。
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	7		・基本活動を複数組み合わせて支援にあたっている。
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7		・主に管理者が出席している。 ・日時や会場によっては、担当者（指導員）の参加もおこなっている。
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	7		・下校時刻や学校行事等、保護者さんから情報を得る事が多い。得た情報は職員で共有している。 ・学校によって対応の温度差を感じるが、協力して頂き、情報提供と不都合時の調整を行っている。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい			

関係機関や保護者との連携		るか				
	⑳	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・保育所や児童発達支援事業所から直接的な関わりは少なく、保護者や相談支援事業所を経由し情報の共有をすることが多い。 ・必要に応じ関係機関が終結しケース検討会を開き情報交換・共有する場合もある。
	㉑	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・系列事業所へ移行する際、情報提供の機会を設け引継ぎを実施している。
	㉒	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・支援者会議の場での連携はあるが、直接的な関りはほぼない。 ・研修等あれば参加していきたい。 ・受けた事がない。
	㉓	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・園外活動で触れ合う機会がある。 ・交流を目的とした機会の提供には至らず。
	㉔	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	3		<ul style="list-style-type: none"> ・事業所連絡会に管理者が参加し、知りえた情報は共有している。 ・分からない。
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1		<ul style="list-style-type: none"> ・共通理解が図れるよう努めている。面談・電話・連絡帳でのやり取り・送迎時の申し送りを大切にしている。出来るようになった事、困り感や課題等、共有出来るよう努めている。
保護者への説明責	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	1	4	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から相談を受け助言する事はあるが、システム化されたペアレント・トレーニングの実施には至っていない。
	㉗	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・運営規定、支援の内容、利用者負担額については、契約時に管理者が説明している。質問などあれば随時説明を行い丁寧な対応を心がけている。 ・随時確認できるよう、玄関にファイルしている。
	㉘	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・電話や面談送迎時に保護者から相談があった場合は、状況を確認しアドバイスしている。悩みや助言内容は職員間で共有している。 ・受け答えが難しいと判断した内容は、教室としての考えをまとめ保護者に返答している。 ・保護者のニーズに適しているかは別として、職員はニーズに応えられるよう努めている。
	㉙	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者同士の交流の場はないが、要望があれば考えていきたい。 ・児童同士で遊ぶ事がきっかけで、保護者が繋がったケースもある。
	㉚	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7			<ul style="list-style-type: none"> ・管理者が窓口になり対応している。迅速な対応と解決に努めている。 ・職員間で共有し改善策の周知徹底に取り組んでいる。

任 等	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			・月に1度紙面での通信を発行し活動の様子や、お知らせを載せ発信・報告している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	7			・カギのかかる書庫で保管している。 ・書類は持ち出さない、ひかり通信の写真は顔を隠す等注意している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7			・視覚支援や文字支援、文章に残す、ジェスチャー等組み合わせ内容や利用時の様子が伝わるよう工夫している。意思の疎通、情報伝達の工夫として、相手が分かるワード選びもおこなっている。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		1	6	・招待・地域の行事に参加する機会はほぼない。 ・事業所の行事は常につつましく、大規模な企画はない。
非 常 時 等 の 対 応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	3		・職員へマニュアルを配布し周知はしてきた。保護者への周知は低いように感じる。 ・各委員会が発足し実働する事で周知に繋がると考えられる。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			・年2回避難訓練を実施している。 ・実際の避難場所に避難したり、消防署見学等実施し、体験を通し理解に繋がる工夫をしている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	6	1		・事業所内研修を実施し全職員が参加し理解を深めている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	2	4	1	・身体拘束が必要なお子さんの受け入れがない為、計画に記載する機会がない。 ・組織として身体拘束委員会を発足する準備中である。今後は委員を中心に検討し組織的な対応を検討していきたい。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7			・おやつや、調理レクではアレルギーが含まれる物は提供してない。メニューを変更し対応している。 ・ご家族と相談し、ご準備頂いたおやつを提供する場合もある。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6		1	・ヒヤリハットを作成している。状況や原因の振り返りと、検討後は、対応の周知に取り組んでいる。